

中川小で「防災について考えるつどい」開催

7月2日、中川小学校体育館にて、全児童、保護者及び地域のかたたちを対象とした「学校・家庭・地域の防災について考えるつどい」が開催されました。

身近な地域の防災活動に関心を持ち、自分にできることを考えられるようにすることを目的とし、講師を招いての講演では、児童がグループに

分かれ、避難所運営での課題について話しあいを行いました。また、災害などの緊急時、確実に児童を保護者に引き渡すことができるよう、引き渡し訓練も実施されました。



▲会場となった体育館の様子



▲引き渡し訓練の様子



▲グループで話しあう児童たち

一市一町合同水防演習

6月19日、長谷排水機場前の利根川河川敷において、二市一町合同水防演習が実施されました。この水防演習は毎年、坂東市、境町、古河市の利根川沿いの3市町により輪番制で行われているものです。当日は、作業服に地下足袋、軍手を装備した坂東市消防団員が茨城県の指導によりシート張り、五徳縫い、折り返し、積み土のう、月の輪などの各水防工法を実演しました。伝統的な技術を受け継ぐことで、安全・安心な生活を保つことができ、水害から市民を守ることができます。



▲五徳縫いを実演する消防団員の皆さん

市職員構成の危機対策員 災害対応高度化研修

7月29日、(二財)消防防災科学センター職員を講師として招き、災害対応高度化研修を実施しました。本市では、昨年9月の関東・東北豪雨における災害対応の問題点を改善するため、今年3月に職員35人を危機対策員として任命しました。研修では、災害対応に関する実践的な知識、ノウハウ・スキルの習得、災害対応力の向上を図ることを目的とし、災害を想定した実践演習を行いました。



▲研修に参加した危機対策員の職員たち